



およその大きさ 90×85×30cm



↑
繊維状になった部分

形の特ちょう (ニックネーム)

色の特ちょう

- ・ 暗緑色～黒色の地に白色の脈が不規則に入っている

表面の特ちょう

- ・ 暗緑色の部分は大きなかたまりと、細かく破断されて円れき状になった部分があり、白色の脈の部分は割れ目を埋めた形になっている

側面の特ちょう

- ・ 表面と側面の違いはない

含まれているもの

- ・ 白色の部分のうち暗緑色の部分に近いところは繊維状になっている

その他の特ちょう

- ・ 白色の部分は塩酸をかけると発泡し、カッターナイフで傷がつく (石灰岩)
- ・ 黒色部はカッターナイフで傷がつかやわらかい (蛇紋岩)
- ・ 磁石にはわずかに付く

メモ

【観察メモ】

- * 蛇紋岩と石灰岩の混在した岩石が蛇灰岩。この岩体の場合は、蛇紋岩の割れ目を石灰岩が充填しているように見える
- * 地殻変動で蛇紋岩に割れ目ができ、液体がしみ込んで石灰分が結晶化したものか

岩石名

蛇灰岩 (深成岩?)